

1. 本研究の経過

(1) 科学研究費の継続

2013年度は2012年11月に追加交付となった基盤研究(A)「未利用の海外所在東アジア近代地理資料の集成と活用」の第2年目であるが、1,500千円の直接経費を前年度より繰り越しており、これにより、とくに空中写真関係の画像を購入することとした。

(2) 調査活動

海外調査

①2013年8月26日～9月22日の間、のべ6名が下記のスケジュールでアメリカ議会図書館（ワシントン）ならびにアメリカ国立公文書館Ⅱ（メリーランド州カレッジパーク）で調査を行った（写真1）。

- ・ 佐藤廉也（九州大学比較社会文化研究科／地理学・文化生態学、中国黄土高原、海南島の地図と空中写真の探索）8月26日～9月6日
- ・ 小林 茂（大阪大学名誉教授・大阪観光大学／人文地理学、外邦図および戦中期気象観測データの探索）8月26日～9月9日
- ・ 鳴海邦匡（甲南大学／歴史地理学、東アジア海図）9月1日～14日
- ・ 片山 剛（大阪大学／東洋史学、中国の近現代地図）9月11日～22日
- ・ 大坪慶之（三重大学／東洋史学、中国の近現代地図）9月11日～22日
- ・ 山本 一（大阪大学／東洋史学、中国の近現代地図）9月11日～22日

これで行われた調査のうち、中国黄土高原のU-2機撮影写真に関することについては本号の発表要旨の佐藤・鳴海・小林発表要旨を参照。

②2013年11月24日～11月29日の間、関根良平、小林茂、山本健太が韓国、ソウルで、近代地図のインターネットを通じた公開の状況について調査するとともに、明治期の日本公使館、領事館でおこなわれた気象観測に関連した調査を行った（写真2）。



写真1 アメリカ国立公文書館（NARA）ⅡでのU-2機撮影空中写真の閲覧

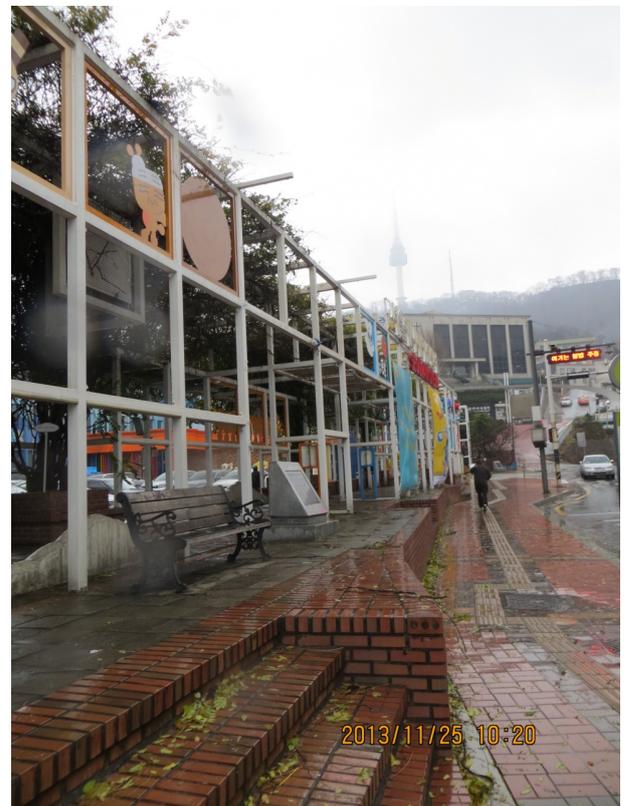


写真2 韓国統監府・朝鮮総督府碑（中央）のたつソウル・アニメーションセンター

- ・ 関根良平（東北大／人文地理学）11月24日～11月27日
- ・ 小林 茂（大阪大学名誉教授・大阪観光大学／人文地理学）11月24日～11月27日
- ・ 山本健太（九州国際大学／人文地理学）11月24日～11月29日

この二つの調査については、本号の2編の報告を参照。

③2013年12月22日～12月28日に小林茂が片山剛大阪大学教授のグループ（片山教授を代表者とする科学研究費（基盤研究A）「中国における土地領有の慣習的構造と土地制度近代化の試み」による）とともに台北の国史館と国立台湾図書館で資料調査を行うほか、桃園県の台湾省桃園農田水利会ならびに観音郷でインタビュー調査、現地調査を行った（写真3）。



写真3 台湾省桃園農田水利会新坡工作站でのインタビューのあと、昼食をいただく。

④2014年2月26日～3月16日の間、のべ4名が下記のスケジュールでアメリカ議会図書館（ワシントン）ならびにアメリカ国立公文書館II（メリーランド州カレッジパーク）で調査を行った（写真4・5・6）。

- ・ 小林 茂（大阪大学名誉教授・大阪観光大学／人文地理学、地図・気象データ）2月26日～3月15日
- ・ 鳴海邦匡（甲南大学／歴史地理学、東アジア海図）2月26日～3月16日
- ・ 田中宏巳（帝京大学／軍事史学）3月4日～15日
- ・ 後藤敦史（大阪観光大学／日本近代史、ロジャーズ艦隊資料）3月6日～16日



写真4 雪道をアメリカ議会図書館へ（背景はアメリカ議会）



写真5 藤代さんと田中先生を囲んで



写真6 いつもお世話になるアメリカ議会図書館のスタッフの皆さんと

国内調査

- ① 2013年6月10日、小林茂が九州大学図書館で戦前期の『陸地測量部年報』および *Annual Report of the Land Survey Department of Imperial Japanese Army, 1922-1928* をはじめとする陸地測量部の英文報告を閲覧するほか、19世紀東アジアの気象観測に関する文献調査を行った。
- ② 2013年7月17日、京都大学文学研究科図書室で鳴海邦匡・小林茂が「八省沿海全図」（中国沿岸に関する中国語の海図集で、元図は英国海図と考えられる）を閲覧した。
- ③ 2013年11月11日、小林茂が気象庁図書室で、『北支那気象月報』ならびに『比律賓気象月報』などの調査を行った。
- ④ 2014年3月26日、小林茂が防衛省防衛研究所で『北支那気象月報』ならびに『比律賓気象月報』の調査を行った。

学会発表・講演

- ① 2013年5月18日～19日、歴史地理学会大会（砺波市）の「歴史気候学セッション」に参加して、小林茂・山本晴彦「東アジアにおける戦中期の気象観測体制の展開とその間の未集成観測データの探索」を発表した。
- ② 2013年6月22日、人文地理学会歴史地理研究部会（甲南大学）で小林茂・山近久美子・渡辺理絵・山本健太・鳴海邦匡・波江彰彦が「初期外邦手描き原図データベースの構築」、波江彰彦・鳴海邦匡・小林茂が「資料調査における地図絵図画像の記録と処理」を発表した。
- ③ 8月6日、国際地理学会京都地域大会（International Geographical Union, Kyoto Regional Conference, 京都国際会議場）で、“Modern mapping process of East Asian countries: from imperial cartography to GIS”と題するセッションをおこなった。このセッションは人文地理学会を通じて申請して認められたジョイント・セッション（JS102）で、下記の発表が行われた。

- Shigeru Kobayashi (Osaka University), Imperial cartography in East Asia during the 19th and Early 20th Century: An Overview.
 - Katsunori Kawamura (Yamaguchi Municipal Ouchi Junior High School), Nautical cartography of Japan in the latter half of the 19th century.
 - Liming Hsia (Eastern Taiwan Studies Association), Maritime imagination and governing Taiwan: Marine image on the maps of Taiwan, 1683-1895.
 - Daiju Koseki (Kyoto Women's University), Japanese modernization and cadastre system, 1872-1890.
 - Chingchi Huang (Loyola Map Workshop), A historical geography research of Peking-Mukden Railway under the vision of modernization, 1881-1912.
 - Kunitada Narumi (Konan University) and Shigeru Kobayashi (Osaka University), Japanese mapping of East Asia in relation with nautical charts produced by Western countries during the 19th century.
 - Chun-Lin Kuo (National Dong-Hua University) and Hsiung-Ming Liao (Academia Sinica), The military cartography in WWII: A comparative study of the 1/50,000 topographic mapping between the U.S. and Japanese army in Taiwan, 1944-1945.
 - Shigeru Kobayashi (Osaka University), Kumiko Yamachika (National Defense Academy), Rie Watanabe (Yamagata University), Kenta Yamamoto (Kyushu International University) and Akihiko Namie (Osaka University), A database of early Japanese military maps of China and Korea.
- ④ 2013年8月8日、東洋史研究者の集まりであ

る明清史研究合宿（吹田市）で小林茂が「前植民地期の東アジアにおける伝統地図と近代地図」と題する発表を行うとともに、翌9日の討論に参加した。

- ⑤ 2013年12月9日、京都大学で開かれたPNC 2013 Annual Conference and Joint MeetingsのANGIS（アジア歴史地理情報学会）第2回会議で、小林茂が“On the applicability of GIS Analysis to modern military and colonial maps of East Asia”と題する招待講演をおこなった。
- ⑥ 2013年12月12日、京都大学で開かれたPNC 2013 Annual Conference and Joint MeetingsのPNC/ECAI Session (Historical GIS)で、小林茂・宮澤仁・山本健太が“Three databases of Japanese Imperial Maps”と題する発表を行った。
- ⑦ 2013年12月15日に大阪大学文学研究科で開かれた「近代東アジア土地調査事業研究」第4回ワークショップで、佐藤廉也・鳴海邦匡・小林茂が「(特別レポート) アメリカ公文書館蔵、U-2機撮影の中国大陸空中写真画像について」と題する発表を行った。
- ⑧ 2014年3月27日、日本地理学会春期学術大会（国士舘大学）で佐藤廉也・鳴海邦匡・小林茂が「U-2機撮影中国大陸空中写真の研究資料としての利用可能性と課題」を発表した。

その他の関連活動

- ① 2014年1月31日、アジア歴史資料センターで、小林茂と宮澤仁が平野健一郎同センター長、田中福一郎同センター次長、松尾弘子資料情報専門官、大野太幹研究員、佐久間健研究員、平野宗明研究員に、外邦図デジタルアーカイブの構築過程、現状、さらに今後の課題について説明した。この説明はアジア歴史資料センターからの問い合わせを受けておこなわれたもので、あわせて台湾・韓国のインターネットを通じた地図画像の公開における外邦図の取り扱いについても説明した。

2013年度に刊行された論文・報告・著書など

- ① 小林茂（2013.7）『『陸地測量部沿革誌』解説』復刻版『陸地測量部沿革誌』不二出版、1-29.
- ② 外邦図研究グループ（2013.8）『外邦図研究ニューズレター』10（68p.）
- ③ 小林茂（2013.9）「外邦図」人文地理学会編『人文地理学辞典』丸善出版、162-163.
- ④ 小林茂・山本晴彦（2013.9）「(発表要旨) 東アジアにおける戦中期の気象観測体制の展開とその間の未集成観測データの探索」歴史地理学 55(4): 57.
- ⑤ 小林茂・山近久美子・渡辺理絵・山本健太・鳴海邦匡・波江彰彦（2013.10）「(発表要旨) 初期外邦手描き原図データベースの構築」人文地理 65(5):450-451.
- ⑥ 波江彰彦・鳴海邦匡・小林茂（2013.10）「(発表要旨) 資料調査における地図絵図画像の記録と処理」人文地理 65(5):451-452.
- ⑦ 小林茂・山本晴彦（2013.12）「東アジアにおける戦中期の気象観測体制の展開とその間の未集成観測データの探索」歴史地理学 55(5): 82-98.
- ⑧ 山本晴彦（2014.1）『帝国日本の気象観測ネットワーク：満洲・関東州』農林統計出版.
- ⑨ 佐藤廉也・鳴海邦匡・小林茂（2014.3）「(発表要旨) U-2機撮影中国大陸空中写真の研究資料としての利用可能性と課題」日本地理学会発表要旨集 85: 227.
- ⑩ 佐藤廉也・鳴海邦匡・小林茂（2014.3）「(特別レポート) アメリカ公文書館蔵、U-2機撮影の中国大陸空中写真画像について」近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター（大阪大学文学研究科片山剛研究室）5: 79-83.

その他関連文献

- 今井健三（2013.8）「日本における近代的な海図のはじまり」地図 58(3): 36-45.
- 鈴木純子（2013）「幕府海軍から海軍水路部へ：赤門書庫旧蔵地図に残る初期海図の軌跡」東京大学史料編纂所紀要 23: 66-78.

梶井進（2014.1.19）「樺太演習林全景くつきり：
1930年空撮197枚京大で発見」京都新聞夕刊1
面.

松岡資明（2014.2.22）「満州の気象資料発掘：気
候変動の分析に生かす」日本経済新聞朝刊、44
面.